



Public relations
OZU TOWN



中学生に指導をする本田さんは、日本サッカー協会公認B級ライセンスや日本サッカー協会公認3級審判員の資格を持っています。

広報 おおづ 2021 4

発行・編集 大津市 総務課 熊本厚 熊本厚 大津市 大津1-233 番地
〒869-692 TEL:096(293) 3111 <http://www.town.ozu.kumamoto.jp/> ※広報おおづは環境に配慮して再生紙と植物性インクを使っています。

UD FONT 見やすくて読みやすい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

楽しいから好きになる 好きだからもっとうまくなりた うまくなるから楽しい



ほんだ しんご
本田 真吾さん (杉水)

元プロサッカー選手で4月からグランヴァロー
ル大津FCジュニアユース監督兼ジュニアコー
チを務める本田真吾さんをクローズアップする。

兄の影響で保育園に通う頃にはボールを蹴っ
ていた本田さん。練習に明け暮れた小学生の頃
から夢はプロサッカー選手。「高校の進路調査
では第一志望にプロサッカー選手とだけ書き、
担任の先生に叱られました」と笑顔を見せる。
卒業後は夢を叶えてJリーグに属するアビス
パ福岡へ。平成18年、町内出身者として初のプ
ロ選手となった。プロの世界に飛び込み、バラ
色の選手生活が始まると期待していたが、現実
は甘くなかった。「何度も挫折を味わいました。
結果ばかり考え、サッカーを楽しむことを忘れ
てしまった」と当時を振り返る。

しかし、少しずつ考え方が変わる。結果では
なく、原因を考えるようになった。うまくいか
ないときの「なぜ」は自分に原因があったと考
えるようになった。「環境や過去は変わらない。
自分がコントロールできることに集中する」。
すると、心が軽くなり、失敗しても「次はこう
しよう」とやるべきことが見えてきた。そして、
もう一度サッカーを楽しむようになった。

そんな本田さんは平成28年に11年の現役生活
に別れを告げ、その後4年間の指導者経験を経
て大津町に帰ってきた。現役時代からオプシ
ョンには地元で子どもたちとボールを蹴って
いた。この道を決めたのは、「自分を育ててく
れた町への恩返しは、次の世代を育てることだ
」という思いが強くなってきたからだ。掲げる指
導方針は「楽しく好きなサッカーをすること」。
「楽しいから好きになる、好きだからもっとう
まくなる、うまくなるから楽しむ」。この好
循環こそが理想だ。勝ち負けだけではなく感謝の
気持ち、仲間の大切さも伝えたい。「苦しい
ときに家族や仲間が支えてくれたので頑張
れた。子どもたちにも伝えたい」と話す。

町で育った本田さんがプロの世界での経験を
次世代に伝えることで、若い選手が育つ。代々
受け継がれてきた町の好循環。その一翼を本田
さんは担っている。

今月のみどころ 金田町長就任のあいさつ

今月の表紙

2月25日に金魚すくいイベントが、事前に応募があった町内の幼稚園、保育園で行われました(写真は杉水保育園)。園児たちは新型コロナウイルス感染症の影響で祭りなどが中止になったこともあり、夢中になって楽しみました(16頁参照)。

からいもくん便り 大津町総合情報メール

登録方法: ozutown@gw.ansin-anzen.jp に空メールを送信してください(スマートフォンの場合は件名に任意の1文字「あ」などを入力して送信)。



大津町公式 アカウント

友だち追加の方法
①LINEの友だち追加の画面から「@ozutown」で検索する。
②次のバーコードを読み込む。



新型コロナウイルス感染症の影響で卒業式や入学式、歓送迎会や花見などまだまだ例年通りとはいきませんが、成人式が5月2日に開催されることが決まったようですね。思い入れが、今年度最初の広報となります。まだまだ未熟な部分ありますが、住民の皆さんのための広報づくりに精進してまいります。プレゼント企画などを通してのご意見も参考にさせていただきます。今後ともよろしくお祈りします(暁)

こころの声